

つながる元気、ときめきキャンパス。



全国大学生生活協同組合連合会

〒166-0012 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館 Tel.03-5307-1111 (代表)  
<https://www.univcoop.or.jp/>

UNIV. CO-OP

# 2030 Goals



# なぜ、いま 「大学生協 2030 Goals」なのか。

## 策定の目的

- ①「2020年に向けた大学生協アクションプラン」策定以降の大学および大学コミュニティの変化、社会状況の変化を踏まえ、大学生協の「使命」を改めて確認します（このことを組合員や大学・社会からみた「大学生協の価値」として表現し、併せて、価値を実現するために大切にす視点を（姿勢・態度）を明らかにすることにしました。
- ②大学生協が存続し大学コミュニティに貢献し続けるため、大学生協が2030年までに何を成し遂げるべきか、可視化された具体的な目標（Goals）として設定し、目標達成のための行動指針（Action Plan）を明らかにします。
- ③「大学生協 2030 Goals」を大学生協連・会員生協全体のものとし、それぞれが主体的に取り組むことで組合員・大学・社会への貢献を増大させ、21世紀中盤での大学生協の存在を確固たるものにします。

## コロナ禍と大学生協

- ①上記の策定目的を確認後、新型コロナウイルス感染症の拡大が本格化し、大学と社会の状況が大きく変容し、大学生協は経営的にも組織的にも極めて甚大な影響を受けることになりました。
- ②これらのことを大学生協連第64回総会では、学生にとっての「3つの危機（暮らしの危機、学びの危機、コミュニティの危機）」と大学生協にとっての「3つの難局（経営の難局、コミュニティ形成の難局、生協組織の難局）」と位置付けました。
- ③こうした状況を踏まえ、大学生協連では、会員の経営と大学生協事業を「再生」し、組合員の暮らしの向上を実現するための「大学生協『再生』基本方針」を策定しています。

## 2030 Goalsへ

- ①コロナ禍による大学や社会の変化の多くは、近い将来に起きたと見られることが、前倒し、あるいは局所的に強調された形で起きているものです。
- ②いま、「大学生協 2030 Goals」を策定することによって、大学生協の価値と将来に成し遂げるべき目標（Goals）を確固たるものとして定めることは、確信をもって大学生協の「再生」を進めていくことにつながります。
- ③コロナ禍によって、「大学生協 2030 Goals」を策定することの意義は、より一層明確なものとなっています。
- ④そして「大学生協 2030 Goals」は、コロナ禍を乗り越えて、大学生協の「再生」（会員生協の「再生」と大学生協事業の「再生」を柱とする）を進めていくための指針となるものです。

## CONTENTS

### 01 なぜ、いま「大学生協 2030 Goals」なのか。

### 03 これからの時代の変化は？そして、私たちの価値は？

- ・2030年に向けて予測される社会・大学・学生の変化、求められる大学生協の変化
- ・2030年に向けて守りたい価値、創造したい価値
  1. 守りたい価値
  2. 創造したい価値
- ・価値を実現するために大切にす視点を
  1. 組合員の参加と協同で事業とコミュニケーションを革新する
  2. 協同組合の価値と原則を中心に据える
  3. よりよい社会、よりよい大学づくりに貢献する

### 05 2030 Vision, Goals & Action Plan

1. つながりのプラットフォームとしての大学生協
2. 学びをサポートするネットワークとしての大学生協
3. 大学生生活の頼りになるパートナー、セーフティネットとしての大学生協
4. 持続可能な社会実現のために実践し、発信する大学生協
5. 大学に頼りにされるパートナーであり続ける大学生協

（資料）【これまでに確認してきた大学生協のミッション・ビジョン・アクションプラン】

21世紀を生きる大学生協のビジョンとアクションプラン（2006年12月）

「協同」「協力」「自立」「参加」をキーワードに、21世紀を生きる大学生協の4つの「使命」と8つの「ビジョン」、ビジョン実現のための8つの「アクションプラン」を明らかにしています。

2020年に向けた大学生協のアクションプラン（2013年12月）

「学生や大学生生活の変化への対応」「厳しい事業経営環境の克服」「協同組合の役割についての再認識」の観点からアクションプランを改訂しています。

# これからの時代の変化は？ そして、私たちの価値は？



## 2030年に向けて予測される 社会・大学・学生の変化、 求められる大学生協の変化

### 2. 学生を取り巻く環境、学生の生活や意識

- 「おしゃべり・語らいの場」、気軽に安心に集える場としての大学生協の認知を高めることが求められます。
- 学生を中心とした組合員の行動・チャレンジに応える大学生協・大学生協職員の役割が求められます。
- 学内構成員の協同を生み出す場づくり・仕組みづくりが求められます。
- 学生委員会の活動を「やってあげる」から「一緒にやろう」に変えていくことが求められます。
- 大学生協を通じて組合員が「輝ける」場面を作ることが求められます。

### 4. ICT・AI 技術

- オンライン時代におけるつながりの創造が求められます。
- つながり続けるためのオンラインとリアルとの融合が求められます。
- キャンパス外でも大学生協とつながれる仕組みづくりが求められます。
- “弱いつながり”を包含するつながりの多様化、参加の拡大につながる技術開発が求められます。
- 組合員の生活向上のために、ビッグデータやAIなど、今日的なデータサイエンスの活用が求められます。

### 1. 大学のあり方・大学の経営課題

- グローバルに進む学生の流動化と大学の個性化が加速します。
- 18歳人口の減少に伴い、生き残りをかけた大学間競争、大学再編が加速します。
- キャンパス内のコミュニティにとどまらず、地域や学外ともつながるコミュニティへと、大学コミュニティの再創造が求められます。
- コミュニティ形成を促進する協同組合の役割発揮（＝大学の魅力づくりにつながる大学生協の事業活動）が求められます。
- 大学・教職員の繁忙化によって、大学業務（正課・正課外）をサポートする生協の役割発揮の機会が増加します。

### 3. 大学での教育・学び

- アクティブラーニング・オンライン活用による教育方法、教材の変化（紙から電子への移行）が加速します。
- デバイス、コンテンツ、サポートを融合させた学習・教学支援の推進が求められます。
- 情報教育レベルの向上による生協のサポートコンテンツの見直し求められます。

### 5. 地球規模の社会的課題

- 気候変動、飢餓、貧困、平和、ジェンダー平等、人間らしい仕事等、SDGsが掲げる地球規模の諸課題への対応が求められます。
- 組織と事業が結びついた取り組みを進めることが求められます。
- これまでの各分野の取り組みをSDGsの目標に沿って位置づけることが求められます。
- 異文化交流や多様性の尊重などを進めながら、学生が成長し、人と地球に優しい持続可能な社会の担い手になっていくための役割が求められます。

## 2030年に向けて守りたい価値、創造したい価値

### 1. 守りたい価値

- 安全・安心で誠実な、信頼できる大学生協。
- 学生を温かく見守り、寄り添いながら学生生活を支える大学生協。
- 協同・協力・自立・参加を大切にする大学生協。
- 組合員自らがつながり合い、助け合うことで、組合員共通の生活上の課題を解決し、願いを実現できる大学生協。
- よりよい生活、平和、民主主義を希求する大学生協。

### 2. 創造したい価値

- いつでもどこでも、つながり合い、助け合い、励まし合い、学び合えることが実感できる大学生協。
- 事業活動を通じて、持続可能な社会の実現をリードする大学生協。
- 安心できるコミュニケーションの場で、一緒に、楽しみながら、事業と活動を創り上げている大学生協。
- キャンパスの内外で、他の協同組合や地域社会と連携しながら、学生の生活と成長をサポートしている、大学生協のサーフティネットとしての大学生協。
- 学生の「食」と「学び」を支えるトップランナーとして、組合員と大学から頼りにされ、社会への発信力のある大学生協。

## 価値を実現するために大切にする視点

### 1. 組合員の参加と協同で事業とコミュニケーションを革新する

- 事業と活動への組合員の参加を大切にする。
- 学生の良き理解者、大学構成員みんなの隣人として「一肌脱ぐ」プロフェッショナルな生協職員としてある。

### 2. 協同組合の価値と原則を中心に据える

- 大学生協として、大学コミュニティを支え、コミュニティを創造する。
- 組合員の参加による開かれた民主的管理により、自治と自立を実現する。

### 3. よりよい社会、よりよい大学づくりに貢献する

- 大学のブランドと価値を高める。
- 協同体験を通じて一人ひとりの組合員の成長に貢献する。
- 持続可能な社会の実現に貢献する。
- 協同組合や多様なステークホルダーとのパートナーシップで、よりよい社会づくりに貢献する。

# 2030 Vision, Goals & Action Plan

## 「2030年までに私たちが実現したいこと」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS




SDGsは2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものです。

### Vision 1 つながりのプラットフォームとしての大学生協

● Action Plan Platform

**Goal 01** いつでもどこでも、組合員と組合員、組合員と生協が、親しみを持ってつながり合えるようになっている。

- 組合員が生協の商品・サービスをいつでもどこでも利用できるように、オンラインツールの活用を進めます。
- 組合員同士や、組合員と生協との、リアルなつながり・心のつながりが促進されるような、オンラインツールの活用を進めます。
- 「一言カード」がオンラインツールでも有効に活用されるように工夫します。
- 組合員が、生協の事業と活動を通じて、大学コミュニティに参加できるようにします。
- 学生委員や生協役員が、親しみのあるやりとりをリアルでもオンラインでも実現することを通じて、組合員一人ひとりと生協、組合員のコミュニティやグループと生協、とのつながりを作る役割を果たします。
- 「つながり合い、語り合い、助け合い」のきっかけとなるような、大学単位、地域単位、全国での交流企画に年1回以上取り組みます。
- 学生の心身の健康、学びと成長を支える視点から、保護者や卒業生とのつながりも強めていきます。



**Goal 02** 大学キャンパス内の店舗が、組合員どうしのつながりによる「体験の場」「出会いの場」「地域にも開かれた場」としての役割を果たしている。

- 「食」「学び」など事業活動では、モノの提供に限らず、コミュニケーションの機会を提供していることを大切にします。
- すべての大学生協で、利用して居心地の良い、これからも利用したいと思えるような店舗(場)を、組合員の参加と協働で再度デザインし直して、運営します。
- 大学生協の事業と活動への参加を、相互扶助の精神を実感できる機会であるとともに、インターンシップ体験として位置付け、組合員の学びと成長の機会をつくります。




新店舗 MAPLE  
愛媛大学




**Goal 03** 大学生協の新学期活動が、新入生が大学や仲間と初めてつながり合う場として確立され、大学・社会から認識されている。

- 大学や仲間と初めてつながり合う機会として、すべての新入生が参加することができる歓迎企画・説明会を実施します。
- 新学期活動を通じて形成された仲間とのつながりを継続・維持・発展させられる取り組みを広げます。
- 大学生活の先輩が後輩へ知識や経験を伝える取り組みを実施し、それを実践できる社会経験の機会を創出します。
- 大学生協は相互扶助を理念に置く組織である、と新入生が認識できるように加入提案を広げます。
- すでに組合員になっている大学構成員に対しても、生協の価値を伝える協同組合教育の機会を設けます。




**Goal 04** 大学コミュニティのハブとして、学生・院生・留学生・教職員等、すべてのキャンパス構成員が活動に参加でき、つながり合えるようになっている。

- すべての大学生協において、学部生・大学院生・留学生・大学教員・大学職員の各階層から役員(理事、監事)を選出します。
- 総代会制を採用するすべての大学生協において、階層、学年、学部等の選挙区を設定し総代を選出します。
- すべての大学生協で、自らの目標を持って、学生委員会を組織します。また、教職員委員会、院生委員会、留学生委員会の設置を進めます。
- 「大学生協は相互扶助に理念を置く組織である」との認識を広げながら、院生・教職員の生協加入率を90%以上にします。
- 自分たちの大学が好きになる取り組みを定期的に行い、広報します。
- 組合員が積極的に運営参加できる仕組みを整え、利用結集を高め、組合員の過半数の利用・参加を追求し、学生生活実態調査「大学生協の運営に参加してもよい+したい」で50%以上の回答を目指します。



大学生協とは? | 全国大学生協同組合連合会  
ホームページ




### Vision 2 学びをサポートするネットワークとしての大学生協

● Action Plan Network


**Goal 05** 学生からも大学からも頼りにされる「学び」のネットワークになっている。

- 電子コンテンツおよびデバイスの提供と安定した通信環境を提案し、組合員がいつでも、どこでも、だれとでも参加できる創造的な学びのコミュニティを実現します。
- 入学準備から卒業まで、デバイス・ソフト・コンテンツそしてソリューションを総合的に提案し、学生の自発的な学びをサポートします。
- 大学の学修基盤(FD、LMS、ポートフォリオ等)と連携した教育・学修ログの提供等を通じて、大学・教員に向けた教育(授業)へのサポートと、学生に向けた学修へのサポートを実現します。
- 教職員の協力の元に、引き続き頼りにされる教科書事業を継続し、書籍事業をはじめ、広く教育活動に関わっていきます。
- 教員や大学院生の声と参加により、大学における研究活動をサポートします。

※ FD: Faculty Development LMS: Learning Management System



早大生のための教養講座  
早稲田大学生協  
※写真は2019年度のもの



**Goal 06** 大学や地域社会と連携し、学生の入学から卒業までのキャリア形成支援事業を行っている。

- 大学や地域社会および企業や他の協同組合と連携しながら、多様なキャリア形成支援事業を行います。
- 学生の体験と学びを支援する企業等とパートナーシップ協定を結び、学び体験・インターンシップ・就職支援・就業体験・ボランティア等、学生の「体験と学び」をサポートする環境を整備します。
- 地域生協と協力して、学生の学びの成果をアウトプットする場、地域へ還元する場を提供します。
- 卒業生・同窓生との交流やリスク啓発講座等を通じて、学生の興味関心を広げる学びの機会・講座を提供します。
- オリジナル公務員講座・教員養成講座等を通じて、組合員が互いに学び合い、励まし合う資格取得を企画運営することで、目標を「かなえ、かなえ合うサポート」を提供します。



自己発見成長セミナー  
日本福祉大学生協



**Goal 07** 学生が生協の事業や活動への参加を通じて学び・成長できている。

- 大学生協の参加と協同の仕組みを活かした体験を通じて、学生の多様な成長を支援します。
- 学生委員会活動としての、生協への参加(出資・利用・運営)を軸とした学びの場の提供を強めます。
- 学生が起点となり自ら企画・運営する事業や活動が、持続的に実施されることを大切にしていきます。
- 大学や地域社会との連携の中で、学生が学び・成長する体験の場を大切にしていきます。



## Vision 3 大学生生活の頼りになるパートナー、セーフティネットとしての大学生協

## Action Plan Safety net

### Goal 08 組合員のこころとからだを育む生活基盤としての食生活支援事業になっている。

- 生活者として多様な組合員の多様な要望に応える食生活支援の確立を、組合員の利用と参加を通じて実現します。
- 生協のお店の利用を通じて、組合員が正しい「食の知識」を持ち、あふれる情報に対して自分で考え、バランスよく食事を選択できるお店づくりを進めます。
- 組合員が、食べ物を生産・加工する現場を知り、体験する機会を設け、生活者として社会や生産者とながら、「地産地消」「食」の大切さを考える取り組みを広げます。
- 組合員の食堂の利用実態から、学生が何を食べているのかを把握し、大学とともに組合員の自立した食生活の取り組みを進めます。



東京大学本郷キャンパス中央食堂



### Goal 10 学生の生活をサポートし、組合員が自立した大学生生活を送るための支援事業になっている。

- すべての大学生協で一人暮らしをする組合員が「自炊・洗濯・掃除」といった家事を始める段階でのサポートをする取り組みを強化します。
- 一人暮らしの組合員に寄り添い、「安心で快適な」生活を送れる住まいの事業に取り組みます。
- 震災・災害用品の日常的な提供とともに、災害時には組合員の安否確認や保護者への連絡などを大学と一緒に取り組み、命と暮らしを守る取り組みを進めます。



自炊のすすめ



### Goal 09 学生一人ひとりの学業継続やキャンパスライフに貢献し、相互扶助や協同の精神を育てている。

- 学生の心身の健康を育むために、大学の保健管理センターや学生相談室・学生支援部署等との連携を強め、すべての学生が大学生活に必要な万々のための保障・補償制度に加入することを大学とともに目指します。
- CO-OP 学生総合共済をはじめ大学生協が提案する保障・補償制度が、すべての会員生協で旺盛に展開されて、大学との連携が進み、学業継続につながるように、予防活動やメンタルヘルスへの対応、健康づくり、健康増進の取り組みが、多くのキャンパスで広がっている状態を目指します。
- 大学生協共済の「たすけあいビジョン 2030」にもとづき、CO-OP 学生総合共済の顔の見える4本柱の活動を、すべての会員生協で推進・強化します。

加入：新学期を中心にしながらも、年間を通した全員加入を目指す取り組みを強めて、たすけあいの輪を広げます。

給付：積極的な広報活動により、給付申請忘れゼロを目指して、たすけあいの実感を強めます。

予防：給付事例の学習や学生のさまざまなリスクにもとづいた、創意工夫あふれる予防活動を、学生相互の取り組みとして展開します。

報告：給付ボードをはじめとした学生への報告、アニュアルレポートや定期的な大学への報告、さまざまな地域社会への発信を、強めます。

- 学生生活のセーフティネットとして、「たすけあい奨学制度」をすべての大学に広げて、奨学金給付者を増やします。



### Goal 11 組合員にとって憩い・潤いの場としての生協の事業と店舗になっている。

- すべての大学生協で多様性を尊重し、誰一人取り残さない事業とお店を目指します。
- 憩いと潤いの場として、組合員同士が楽しくコミュニケーションできるお店作りを進めます。
- キャンパスでの生活に必要なものが揃っていて、組合員にとって安心で安全なお店作りを進めます。
- 組合員と生協職員のコミュニケーションでのお店作り、組合員自身が運営参加していると実感できるお店作りを目指します。
- 学部生だけでなく、大学院生、教職員など、一人ひとりの組合員に寄り添える事業や店舗を目指します。



カフェレストラン 梅光学院大学



### Goal 12 ジェンダー平等、ダイバーシティの推進に向けた活動や事業環境、職場づくりが実現できている。

- 国籍・人種・宗教・性自認・性的志向や障がいの有無にかかわらず、必要とするすべての人が分け隔てなく快適に利用できる商品やサービス・事業環境をつくり、組合員の多様性に応じて、参加しやすい事業と活動をつくります。
- 会員生協の労働環境改善・コンプライアンスを促し、一人ひとりの生協職員が働きやすい職場作りを進めて、各大学生協で数値目標を定め、女性の幹部職員（店長・専務理事等）比率を大学生協グループ全体で40%以上に高めます。
- 各大学生協で、障がい者雇用の環境整備を積極的に進めます。
- 環境に配慮した商品を推進することで、障がい者の社会参加を上げ持続可能な社会づくりに貢献する組織・企業の活動に協力します。



### Goal 14 学生生活実態調査や諸種のアンケート・ヒアリング・さまざまな場面での対話活動等を通じて、「日本で一番大学生のことを知っている組織」として、学生の実態を社会に発信し続けている。

- すべての大学生協で学生生活実態調査をはじめとした組合員の生活実態・生活実感を知る活動を強化します。
- 大学生を支援したい・つながりたい企業・NPO 団体との「つなぎ役・窓口」になることを目指します。
- 大学内外に向けて、その時々での学生の実情の発信、広報活動をさまざまなレベルで進めます。



大学・県生協連との協力で食料配布 宮崎大学生協



Vision 4 持続可能な社会実現のために実践し、  
発信する大学生協

Action Plan Sustainability

Goal 15 各大学生協で、あらゆる事業・活動を通じて、  
脱炭素や脱プラスチック、食品ロスの削減などの取り組みを進め、  
持続可能な循環型社会づくりに貢献できている。

- 事業活動において、使用エネルギーの削減や再生可能エネルギーの活用など、二酸化炭素排出量半減に向けた取り組みを開始します。
- 使い捨てプラスチック製品の削減、代替製品の活用（マイボトル持参者へのサービス提供他）など脱プラスチックに向けた取り組みを推進します。
- 組合員の理解を広げながら食品ロスの削減に取り組みます。
- 食に関わる事業分野において、地産地消とともに、環境に配慮した事業・商品・サービスの提供を強化します。
- 大学、自治体、企業、他の協同組合、NPO 等と連携した事業や環境活動などの諸活動を通じて、組合員が社会とつながり、コミュニティ形成を進め、社会の循環を学ぶ場を作り、持続可能な地域社会の活性化に貢献します。



リ・リパック弁当容器回収  
宮崎大学生協



Goal 16 事業や活動を通じて消費者教育を進め、  
組合員の成長を促せる環境ができています。

- 組合員とともに、事業を通じてエシカルな消費行動を推進し、消費者市民社会、持続可能な社会の実現を目指します。
- 組合員活動を通じて持続可能な社会の実現について考える機会を作り、組合員が「自らの参加によって社会を変えることができる・良くなることできる」と実感できる場を増やし、社会の変化を牽引する生活者の創造力を育みます。



エシカル消費店頭野菜販売  
静岡文化芸術大学生協



Goal 17 さまざまな構造的暴力がなく、個人の尊厳が守られ、  
戦争のない平和な社会を目指す活動に積極的に取り組んでいる。

- 大学生活でのいかなるハラスメントも見逃さず、一人ひとりの組合員が生き生きと大学生活を送り、留学生をはじめ国籍・人種・民族・宗教などさまざまなアイデンティティを持つ人々との交流・友好活動を発展させる取り組みを、それぞれの大学生協で進めます。
- 「平和とより良い生活のために」「学消の歴史を繰り返すな」「未来ハ我等のものな里（賀川豊彦書原文のママ）」のスローガンを継承し、大学生協の戦前からの歴史とともに、現在から未来に向けた平和の大切さを学びます。
- 核兵器廃絶を目指して、「知る、知らせる、考え、話し合う」ことを大切に「ピースナウ」などの大学生協の平和活動を広げて、平和を希求し、行動する組合員を増やします。



未来ハ我等のものな里  
賀川豊彦書



Vision 5 大学に頼りにされるパートナーで  
あり続ける大学生協

Action Plan Partner

Goal 18 日本の大学における福利厚生事業の担い手として、  
トッパー、コーディネーターとしての  
位置を占め、役割を果たしている。

- 学生支援と福利厚生事業で、大学の最も頼りになるパートナーとしての大学生協づくりを進めます。
- 大学生協はなくてはならない存在だと大学や社会に認知され、大学には生協が必要だとの声にもとづく生協設立を全国で旺盛に推進し、近い将来に日本の過半数の大学での実現を目指して、事業活動を展開します。
- 大学のBCP（事業継続計画 Business Continuity Plan）を理解し、大学と生協との協力により事業継続性を高めていきます。前提として、すべての大学生協で経常剰余率1%実現を継続します。
- すべての大学生協で、SDGsを大学とともに推進し、大学との協働活動により「地球規模の課題解決のため」の人材育成に貢献します。
- 学生の良き理解者、学生のために「一肌脱げる」良き隣人、学生支援と福利厚生事業、勉学・研究支援、大学業務支援のプロフェッショナルとして、生協職員を計画的に育成し続けます。



SDGs 全国総会



Goal 20 生協活動の発展と積極的な広報により、  
大学の魅力と価値を高めることを  
推進している。

- それぞれの大学の個性に応じた学生や教職員の活動作りを旺盛に展開することで、「つながる元気、ときめきキャンパス」づくりを進めて、大学のブランディング向上に貢献します。
- 学生・院生・教職員等が参加する生協の特徴と強みを生かして、大学とさまざまなレベルで対話を進め、大学生協から積極的な提案を行い、大学運営に積極的に関与・協力します。
- 大学との相互協力のための協定書の締結をすべての大学生協で推進し、大学との信頼関係のさらなる向上を図ります。
- 協同組合間連携により、協同組合全体の価値を高め、大学に協同組合（生協）が存在する価値を示します。



大学良品 奈良女子大学生協



そだねーTシャツ 北見工業大学生協



協定書締結  
京都大学・京都市大学生協



Goal 19 大学運営のパートナーとして、  
大学の業務を担っている。

- テキスト、デバイス、講座、研究費・校費支援など、生協で担える学修・研究活動や大学業務のサポートを、学生・院生・教職員の声を生かして実現し、大学の教育・研究活動、教職員の負担軽減に貢献します。
- 留学支援、留学生支援事業を拡大し、グローバル化に対応する大学業務を支援します。
- 大学の実情に応じて、大学のICT化・DXを生協としても関与・推進します。



リーディングスキル習得講座  
新潟大学生協



# 2030 Vision, Goals & Action Plan